



教育推進室だより

第9号

平成28年12月15日

武蔵野市教育委員会

指導課教育推進室

電話60-1241



学校のニーズに応じた多様な支援に向けて



統括指導主事 木下 雅雄

以前、他地区の学校で副校長として勤めていた時のことです。小学校低学年の教員から「生活科の学習で昆虫の観察をするために、学校の近くで虫取りのできる場所を探しているのですが、副校長先生いい場所ありませんか。」という相談を受けました。私は、学校に赴任して間もなくのことで、土地勘もないため、よいアイデアをすぐに出せませんでした。しかし、前任の副校長から引き継ぎで、地域コーディネーター（その地区では別の名称でした）が学校ごとに任命されている説明があったことを思い出しました。そこで地域コーディネーターに連絡したところ、すぐに昆虫のすみかとなっている休耕地の原っぱを紹介して頂きました。学習の当日の自然と触れ合う生き生きとした虫取り網を手にした子どもたちの笑顔がとても印象的でした。

市立小・中学校の教員は、他地区からの異動のため勤務地の学校周辺の地域のことが異動当初はほとんど分からないケースも多く、地域のことをよく知っている方からの情報はとても貴重です。

今年度スタートした地域コーディネーターの方の活動状況について、市立小・中学校から聞き取りを行ったところ、学校のニーズに応じて様々な支援を地域コーディネーターからいただいていることが分かりました。その一部を紹介いたします。

- ・オリンピック・パラリンピック教育の「世界ともだちプロジェクト」の学習で、本市のホストタウンであるルーマニア国出身の方をゲストティーチャーとして紹介
- ・周年行事に向けた学習で、開校当時の地域の様子についてお話いただける方の紹介
- ・食育の学習として毎年お招きしている地域の方の出席の調整
- ・地域在住の茶道や華道の指導者の方の紹介
- ・救急救命訓練の学習に向けた消防署との連絡・調整
- ・漢字検定、英語検定、数学検定の運営支援



食育の学習として、境南小で実施した交流給食の様子

11月の地域コーディネーター連絡会でも、学校のニーズを聞き取り、多様な支援を行っていくための、様々な学校支援のアイデアについて情報交換が行われました。今後も武蔵野市の児童・生徒により質の高い学習環境を提供できるよう、教育推進室の学校支援コーディネーターと連携を図りながら、地域コーディネーターの活動を支援してまいりますので、よろしく願いいたします。

児童・生徒の情報モラルを育てるために

平成 28 年度第 1 回開かれた学校づくり協議会代表者会

平成 28 年 10 月 26 日（水）に市役所にて行われました。

本会議は、開かれた学校づくり協議会の代表者が一堂に会して協議や意見交換を行うことを通して、教育委員会の諸事業についての共通理解を図るとともに、学校と地域が連携して教育を推進することを目的として、平成 21 年度から開催しています。毎年、年 2 回代表者会を開催し、出席者の各小中学校 18 名の開かれた学校づくり協議会代表者の皆様の他、教育長、4 名の教育委員、教育委員会事務局のメンバーにより、協議を行っております。

今年度は、小・中学校における情報モラルを育むための取組について、事務局より説明を行った後、近隣小・中学校ごとに 3 つのグループに分かれて、「情報モラルを育むための取組について」をテーマに、協議を行いました。

協議後の意見発表では、「子どもに注意等をするためには、まず大人が情報モラルを理解しておくことが大切である。」

「SNS に来た連絡に対し、すぐに返信しないことが、いじめや仲間外れ等につながらないか危惧している。」「情報モラルに限らず、いけないものはいけないと、気付いた大人が伝えていかなくてはいけない。」などのご意見を頂きました。

代表者の皆様から頂いたご意見を踏まえながら、今後も、学校、家庭、地域、教育委員会が連携した情報モラル教育を一層推進してまいりますので、御協力をお願いいたします。



協議の様子



地域コーディネーター

歩み始めて、半年が経ちました



がすてなーに ガスの科学館

スタートして半年。「地域コーディネーター」は、学校からの依頼や相談を受け、他校の地域コーディネーターや教育推進室とも連携・協力しながら、学校と地域の教育力とを結び合わせるため連絡・調整するのが使命。コーディネーターの皆さんは、一日でも早く適切に対応できるよう研さんを積んでいます。

これまでは、主に地域の方々の学校支援を中心に対応してきましたが、今後は大学や企業等の支援も取り込むよう、それらの課題にも取組み始めました。第 1 回目となる 11 月の地域コーディネーター研修会では、教育推進室だより 6 号の「地域で活躍している団体」でご紹介した「東京ガス」様にお越し、視察研修に出かけました。

最初に数々の防災対策で賞を受けた同社浜松町の保安指令センターへ。緊急時には



東京ガス保安指令センターでの研修

1,000 人の電話オペレーターが出動し、市民の安全や問合せに対応するそうです。その施設の安全管理やシステムは最新鋭のもので、普段うかがいしれない都市の防災など、子どもたちにもぜひ知って欲しいものでした。その後は、豊洲の「がすてなーに ガスの科学館」を視察。地域コーディネーターとしていくつもの引き出しにたくさんの情報を詰めて帰って来ました。

これからも多方面からの学校支援を行えるよう研修し、力をあわせて学校を支援していきますので、ご期待ください。

平成 28 年度 むさしの教育フォーラムを開催！

オリンピック・ パラリンピック教育

平成 28 年 11 月 5 日（土）に武蔵野スイング ホールにて「平成 28 年度 むさしの教育フォーラム」を開催しました。本フォーラムは、本市の学校教育に対する市民の方々の関心を一層高め、家庭・地域と連携したさらに質の高い学校教育を推進することをねらいとして開催しています。第 11 回目の今回は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、東京都教育委員会が示す「オリンピック・パラリンピック教育」における 5 つの資質（ボランティアマインド、障害者理解、スポーツ志向、伝統・文化理解、国際理解）を育成する学校の取組の紹介や講演を通して、学校と家庭・地域が連携した質の高い「オリンピック・パラリンピック教育」を推進していくことを目的に開催いたしました。

第一部では、境南小からは、「オリンピック・パラリンピック教育重点校の取組」を、第四中からは、「体力向上を中心とした取組」を、第四小からは、「障害者理解を中心とした取組」を、第二小からは、「国際理解を中心とした取組」について発表していただきました。

また、第二部では、早稲田大学スポーツビジネス研究所 招聘研究員 株式会社 マザーミー 代表取締役 市居 愛 氏を講師に招き、『オリンピック・パラリンピックにおけるボランティア活動』を演題として、御自身のオリンピック・パラリンピックのボランティア経験を踏まえ、2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向け、児童・生徒のボランティアマインドの育成や家庭・地域のボランティアへの関わり方等について、意見交換を交えた御講演をいただきました。



学校からの発表の様子

参加をされた皆さんからは、「それぞれの学校での取組がよく分かり、大変すばらしいと思った」や「一人一人を大切にすることがすべてにつながっていることを実感した。2020 年にボランティアをやってみたくなった」といった多くの御意見をいただきました。

市教育委員会としても、今後も、各学校のオリンピック・パラリンピック教育の取組を通して児童・生徒に人生の糧となるレガシーを残していけるよう、ボランティアマインドの育成や国際交流等の学習を、家庭や地域の方と学校が連携を図りながら進めていけるよう支援してまいります。

東京都教育委員会 校務改善推進事業発表会で、

「先生いきいきプロジェクト」 を発表しました。



フロアとの質疑・応答の場面

東京都教育庁人事部主催の「平成 28 年度 校務改善推進事業発表会（平成 28 年 11 月 4 日、東京都教職員研修センター視聴覚ホール）」で、この 4 月から武蔵野市で実施している、「教員の多忙化解消に向けた取組～先生いきいきプロジェクト～」について、指田和浩 指導課長より発表しました。

当日は、都内の公立小・中学校の校長、副校長、主幹教諭、事務職員等、約 300 名の方々が参加し、小・中学校と教育委員会からそれぞれの校務改善の取組についての発表が行われ、その後、質疑・応答がありました。

武蔵野市教育委員会からは、平成 26 年度に実施した「武蔵野市立学校職員意識調査」の結果や、先生いきいきプロジェクトの目標及び具体的な取組等について発表しました。

終了後、参加した方々からは、「臨時的任用教員（産休及び育休代替教員）育成のための支援は素晴らしいので一層広めてほしい」とか、「先生方のことを考えたプロジェクトになっている」などの肯定的な御意見をいただきました。

これらの御意見を踏まえ、今後も武蔵野市では、先生いきいきプロジェクトを通して、教員の多忙化解消に向けた取組を一層推進していきます。

シリーズ『初任の先生“今日もがんばる！”』<その9>

今年度9回目の初任者等研修は「教育相談および児童・生徒理解」がテーマ。

開会5分前には全員の先生が着席し、静かに開会を待ちます。冒頭、研修担当の本多泰介指導主事から2学期は行事が多く大変だったろうが、体調には十分気を付け、無事学期末を迎えて欲しい、との温かい言葉がありました。

講師は教育支援センターから派遣相談員として各校を訪問している鬼頭啓介、打波祐子、井出 米、館野知都の各臨床心理士の方々。

学校における教育相談の意義について理解するとともに、子どもの実態を捉えるための視点や、保護者面接で課題を共有したり、伝えたりする際のポイント等を学びました。緊張しながら真剣に講義を聴いていた先生方ですが、指導している子どもたちを念頭にしているのロールプレイが始まると、子どもたちの顔や声を思い出したのか、急に明るく元気になり、活発に発言をし始めます。保護者面談をテーマにしたロールプレイのときも保護者と担任役を交互に楽しそうに演じ、普段から学校と家庭の連携が円滑に取れている感じが感じられました。

次回1月の研修は授業研究。また教師としてどんな成長をしているのか、今から楽しみです。



大平高司教育支援センター長



保護者面談の
ロールプレイ
の様子

市内小学校（4年生対象）の浄水場見学をお待ちしています。

& 出前授業もいたします

～地域で活躍している団体紹介 <その8>～

武蔵野市水道部（水道部長 笠原 篤）

浄水場 見学

さて、武蔵野市の水はどこから来るのでしょうか？そんな疑問の答えを探して、武蔵野市水道部にお話を伺いました。

市内には、大野田小学校の南側に第一浄水場と、第二中学校の東側に第二浄水場があります。武蔵野市の水は、市内27か所の深井戸からくみ上げた地下水80%と、東京都で高度処理された河川水20%の混合水を、この2か所の浄水場から各家庭に送っているそうです。

1日約48,000 m³の水を「24時間365日」休みなく送り出している様子が見学できるのですが、危機管理の観点から一般に施設公開はしていないそうです。「安全で、安心して飲める水を届けるためにどんなことをしているのか」を実際に見ることができる貴重な見学の機会を活かしてみたいかがでしょうか。

【浄水場見学可能時期（予定）】 第一浄水場（平成29年4月、5月）
第二浄水場（平成29年4月、5月、9月、10月）



見学している様子

出前 授業

蛇口から出る水の仕組みを説明します！！

浄水場まで行くのが難しい学校には水道部の方が学校訪問し、写真やパネル、模型等を使って蛇口から水が出る仕組みを説明してもらえます。

【出前授業実施時期（予定）】平成29年6月、7月、9月

見学に行かれなかった学校の皆さんには、ご家族の方等と見学ができる日を別途用意してくれるそうです。詳細につきましては資料を送っていただけますので、直接水道部総務課にお電話をかけるか、教育推進室までご連絡ください。

教育推進室 電話：0422-60-1241、FAX：0422-51-5113
水道部総務課 電話：0422-54-5176



監視室内の様子

【お知らせ】

今回の教育推進室だよりでお気付きの点やご意見等がありましたら、教育推進室までお寄せください。次号は、3月15日に発行予定で、書初め展や美術展の様子などについて紹介する予定です。